

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地													
名古屋ビューティーアート専門学校		平成14年3月29日		古淵 泰弘		〒451-0042 愛知県名古屋市中区那古野二丁目12番10号 (電話) 052-533-3363													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地													
学校法人 三幸学園		昭和60年3月8日		屋間 一彦		〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-9641													
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士														
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科		平成16年文部科学省 告示第17号	-														
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。																		
認定年月日	平成28年2月19日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
2年	昼間	62	105	99	2	0	14												
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数													
320人		292人	2人	44人	0人	44人													
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業科目の成績評価は、試験、レポート、履修状況等を総合的に勘案して行い、各科目ごとの基準についてはシラバスに示す。														
長期休み	学年始: 4月1日～4月10日 夏季: 7月21日～8月31日 冬季: 12月25日～1月7日 学年末: 3月21日～3月31日			卒業・進級条件	本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。 卒業に定める所定の単位は、卒業要件として配当科目に示すとおりとする。														
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人および保護者との電話連絡並びに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また、カウンセリングルームを紹介するなど、担任のみならず学校に関わる教職員でサポートしている。			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 海外研修、ボランティア活動、体育祭などの実行委員 ■サークル活動: 無														
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) エステサロン、化粧品メーカー、メイクスタジオ、ネイルサロン ■就職指導内容 採用試験に向け履歴書の書き方や面接練習、企業研修など授業等を通じ実施し、また、サロンガイダンスを複数回実施している。 ■卒業生数 : 152 人 ■就職希望者数 : 143 人 ■就職者数 : 138 人 ■就職率 : 96.5 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 90.8 % ■その他 ・進学者数: 10人 (令和元年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メイクアップ検定 アドヴァンス</td> <td>③</td> <td>114</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>ネイリスト技能検定 2級</td> <td>③</td> <td>30</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	メイクアップ検定 アドヴァンス	③	114	114	ネイリスト技能検定 2級	③	30	29
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
メイクアップ検定 アドヴァンス	③	114	114																
ネイリスト技能検定 2級	③	30	29																
中途退学の現状	■中途退学者 36名 ■中退率 11% 平成31年4月1日時点において、在学者329名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者293名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 目標喪失、学業不振、人間関係 等 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・個人面談を実施し、個々の悩みを早期に発見、解決する。 ・欠席が続く生徒については、早い段階で保護者へ電話連絡をして保護者協力を仰ぐ(3者面談実施も含む)。 ・入学前と入学後のギャップを埋める為、入学直前に入学予定者向けに保護者向けに学校生活や実習、就職等に関する説明会を実施している。																		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 特待生入学制度等 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象) ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																		
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-beauty/couse/total/																		

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)業界が求める人材に対し、就職指導・支援内容に関する事項
- (5)卒業生支援を在学中からできる内容に関する事項
- (6)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
地俱 清嗣	一般社団法人 ビューティーネットワークOPK 副理事長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
西 英一	HAIR STUDIO TAKAMI Group 代表取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
中野 佳代	株式会社アダムス医療ラ・セーヌ本部 インストラクター	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
石澤 純子	NAIL SPACE J's PINKY 代表取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
附田 優翼	花王グループカスタマーマーケティング株式会社 中部支社 企画管理部 人事総務グループ 人事担当	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
和田 忍	名古屋ビューティーアート専門学校 副校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
藤森 淳子	名古屋ビューティーアート専門学校 教務主任	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(1月、6月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年1月14日 10:00～11:30

第2回 令和2年6月16日 10:00～11:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

- ①学びをアウトプットする場の提供方法や工夫について
⇒実現に向け技術力・人間力向上を図るため教育内容は勿論だが、学ぶ環境や地域への感謝の意を醸成する必要がある為、現状のシラバス等の見直し、実現に向けた内容へと変更を検討する。
- ②AI IoTが進む社会(業界)変化について
⇒社会の変化に対応すべく、機器(オートメーション化)を購入し、教育内容(シラバス等)に反映し提供する取り組みを実施する。
- ③コロナ禍に伴う業界の変化について
⇒オンライン説明会・面接などの対策を講じる為、キャリア支援の内容(シラバス)を見直し、より現状に即した内容への変更を検討する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習において学内で学んだ専門的な知識をアウトプットし、実践力を養うと共に、現場・社会に触れることで、美容業界で求められる適切な行動・態度、そして責任感を学び、感じる、醸成する。実習先の選定に関しては、実習生の希望をヒアリングしながら美容分野において2週間、実際にサロンワークを中心とした業務を経験できるサロンに依頼を行う。実習終了後には振り返りを指導を行い、学びの定着を図っている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容については1年次に体験講習・実習を実施させて頂き、現場で必要な心構えや礼儀を学び、業界理解を深め学習意欲を高めることと、必要とされる知識技術を提供してもらっている。その後、校内で専門的なグループ・個別レッスンの講習等を開催し、現場力を身に付ける。終了時には、連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、実習担当者による生徒の学習成果の評価も踏まえ、成績評価（5段階評価）・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
施設実習	本校のカリキュラムの一環としてビューティー業界において、実習を通して学校で学んだ知識統括を行う。また現場における実践的な技術を習得するとともに、業界の動向や求められる知識レベルを把握することを主な目的とする。	株式会社ケンジ
着付けⅠ	現場で必要とされる着付けにおいて、着付けの基礎と知識を学び、着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	株式会社K・Wプロジェクト

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「技術力向上研修」(連携企業等: LUX BOX代表 山名未紗様)

期間: 令和1年8月23日(金) 対象: 技術教員(13名)

内容: 道具(筆・ブラシ等)の違いと実践方法について学ぶ

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「生徒指導力向上研修」(連携企業等: ドゥ カウンセンリングセンター心理カウンセラー 奥園清華様)

期間: 令和1年8月29日(木) 対象: 全教職員(65名)

内容: ゆとり教育の生徒に対しての教育方法を学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「技術力向上研修」(連携企業等: 株式会社不二ビューティ 加納奈都希様)

期間: 令和2年10月1日(木) 対象: 技術教員(14名)

内容: 手技について実践方法を学ぶ

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教員力・生徒指導力向上研修」(連携企業等: 株式会社アビリティトレーニング 木下晴弘様)

期間: 令和3年3月31日(水) 対象: 全教職員(65名)

内容: 組織の存在・ノーム、生徒をやる気にさせる方法について学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
 学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施すること」を基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①業務改善(スリム化)と情報伝達格差をなくす対応

⇒生徒向け学習管理システムの使用頻度アップ。情報伝達格差をなくし、確実な情報伝達と統一案内一斉配信により業務改善に着手している。

②退学率低減に向けた対応

⇒遅刻、早退など目立つ生徒に対し、早期の連絡・面談(保護者同席含む)を実施するため、内部規定を設け確実に実施している。また、授業等では職業観を連想させ、働くことの楽しさを伝えられるようにどう伝えるか検討している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
小栗 慎司	株式会社shin 代表取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
酒元 春菜	株式会社shin スタイリスト	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
中村 立帆	株式会社カネボウ	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
水澤 順一	飛鳥未来きずな高等学校 名古屋キャンパス キャンパス長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	高校教員
國島 徳博	株式会社インテンド 代表取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	地域住民

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL:<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/kankeisya/nagoya-beauty.pdf>

公表時期: 令和2年6月15日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	-
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL:<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/schoolinfo/nagoya-beauty.pdf>

授業科目等の概要

(衛生専門課程トータルビューティー科) 令和2年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	必修選択	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネスマナー I	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ授業。	1年前期	30	2	○			○	○			
○			カラーコーディネート I	ファッションコーディネートの現場で即戦力となるように色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける。パーソナルカラーコーディネートの資格を取得する。	1年前期	30	2	○			○	○			
○			未来デザインプログラム I	ビジネス書「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う。	1年前期	15	1	○			○	○			
		○	デッサン・イラストレーション	物の形をよく観察する力と洞察力を養うことでより深く芸術を理解する。またデッサン力から応用することによりコミュニケーション能力を高めることができます。	1年前期	30	2	○			○	○			
		○	皮膚学 I	皮膚の働きやしぐみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。 ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1年前期	30	2	○			○	○			
		○	生理学 I	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。 ・骨格系、筋肉系、神経系	1年前期	30	2	○			○	○			
		○	栄養学 I	人間の栄養系の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1年前期	15	1	○			○	○			
		○	化粧品学 I	化粧品の法律上の扱いや分類、取扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1年前期	15	1	○			○	○			
		○	エステティック概論・衛生学・関係法規 I	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1年前期	15	1	○			○	○			
		○	ベーシックエステ I	身体や皮膚の生理機能に基づいたファイナル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技の意味を理解する。	1年前期	60	2	○			○	○			
		○	ベーシックネイル I	JNECネイリスト技能検定3級取得を目指し、ネイルケア～カラーリング・アートまでのネイル基礎を学ぶ。	1年前期	60	2	○			○	○			
		○	ベーシックメイク I	メイクアップ化粧品の特徴と適切な使用方法を理解すると同時に、スキンケア～メイクアップテクニックをマスターしフルメイク基礎技術を身に付ける。	1年前期	60	2	○			○	○			
		○	就職対策 I	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導する。	1年前期	15	1	○			○	○			

		○ ダイエット学	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2年	60	2		○		○								
○		カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付け、パーソナルカラーコーディネートの資格取得を目指す。	1年後期	30	2	○			○								
○		未来デザインプログラムⅡ	社会人としてあるべき人格を高め自身および他者へのリーダーシップを醸成する。	1年後期	15	1	○			○								
		○ 就職対策Ⅱ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導をする。そして内定後までの流れをあります指導し、円滑な就職活動準備をする。	1年後期	15	1	○			○								
○		ビジネスマナーⅡ	検定取得を目指し、敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ。	1年後期	30	2	○			○								
		○ 皮膚学Ⅱ	皮膚の働きやしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。 ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1年後期	30	2	○			○								
		○ 生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。 ・内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系・生殖器系	1年後期	30	2	○			○								
		○ 栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1年後期	15	1	○			○								
		○ 化粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。 ・フェイシャル、ボディ化粧品 ・化粧品に用いられる薬剤とその働き	1年後期	15	1	○			○								
		○ ベーシックネイルⅡ	ベーシックネイルⅠに続き、JNECネイリスト技能検定2級課題であるネイルチップ（付け爪）の技術の基礎から応用までを学ぶ。	1年後期	30	1		○		○								
		○ ベーシックエステⅡ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態にあったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1年後期	30	1		○		○								
		○ ビューティーカウンセリング	メイク業界で仕事をしていくための基礎知識、各化粧品メーカーの分析、肌知識からのカウンセリングテクニック、接客技術を学ぶ。	1年後期	30	2	○			○								
		○ 検定メイクⅠ	資格取得の為のメイク基礎知識技術を身に付け、カウンセリングメイク応用技術を習得する。	1年後期	45	3	○			○								
		○ ヘアアレンジⅠ	頭部、骨格の名称、ブロッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	1年後期	60	2		○		○								
		○ パーソナルメイク	顔の分析、カラー診断、イメージに合わせて演習する。	1年後期	45	1		○		○								
		○ ベーシックメイクⅡ	ベーシックメイクⅠに学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1年後期	30	1		○		○								

		○ 検定メイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1年後期	30	2	○			○								
		○ ヨガ・ピラティスⅠ	自分自身の身体で体感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する授業。	1年後期	30	1			○		○							
		○ サロン・レセプション	美容室・エステ等ビューティーサロンで必須な受付、応対術を学ぶ。	1年後期	15	1			○		○							
		○ ビューティー・インダストリー	美容業界を理解し各業態でのサービスの違いや特性を学ぶ。	1年後期	15	1			○		○							
		○ 施設実習	現場での実習勤務を通して、1日及び1週間の流れを学び、お客様を迎えるまでの準備や施術中の役割を深め、接客の基本姿勢を学ぶ。	2年	80	2					○		○				○	○
		○ 就職対策Ⅲ	就職の心構えや目的から伝え、企業のエントリー方法や実践的な面接指導、そして内定後までの流れを指導します。	2年	30	2			○				○				○	
○		着付けⅠ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着付けの技術や着装の指導など、着物全般に対するアドバイスを行うための知識を習得する。	2年	60	3			○		○						○	○
		○ ヘアアレンジⅡ	頭部・骨格の名称、ブロッキングの方法等を学習した後、ホットカーラー、ピン打ち、黒ゴムの結び方、編み込み、コテの使い方等の基礎テクニック習得を目指す。	2年	90	3			○		○							
		○ ビューティーカウンセラーメイクⅠ	幅広いメイクアップの技術と肌の知識、カウンセリング方法等、ビューティーカウンセラーになる為の知識や技術を学ぶ。	2年	60	4			○				○					
		○ ビューティーカウンセラーメイクⅡ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。 スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2年	60	4			○				○					
		○ ブライダルメイク	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学び現場を意識して実践する。 ・洋装和装メイク・お色直し	2年	90	3			○		○							
		○ 特殊メイク	エアブラシからボディジュエリー、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2年	90	3			○		○							
		○ アーティストメイク	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。	2年	90	3			○		○							
		○ フォト & ファッション	フォト⇒写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所よっての注意点等を理解し、実践力を身につける。 ファッション⇒ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。	2年	30	2			○				○					
○		サロンワーク（メイク）	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2年	120	4					○		○					
○		サロンワーク（エステ）	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。	2年	120	4					○		○					

		○	エステティックカ ウンセリングⅡ	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 と、技術力確認試験合格基準を目指す。	2年	60	4	○			○		○				
		○	サロントリートメ ント	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2年	90	3				○		○		○		
○			着付けⅡ	着物文化の指導者としての検定取得を目指し、着 付けの技術や着装の指導など、着物全般に対する アドバイスを行うための知識を習得する。	2年前期	30	1				○		○				○
		○	エステティック総 論（シデスコ）Ⅰ	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理学解剖学・栄養学・化粧品学・概 論・衛生・自然科学・電気	2年前期	60	4	○					○		○		
		○	エステティック総 論（シデスコ）Ⅱ	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理学解剖学・栄養学・化粧品学・概 論・衛生・自然科学・電気	2年後期	60	4	○					○		○		
		○	フェイシャルマ ニピレーション	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテ クニック技術、知識を深める。	2年	90	3				○		○		○		
		○	フェイシャルスキ ンケアⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテ クニック技術、知識を深める。	2年前期	45	1				○		○		○		
		○	フェイシャルスキ ンケアⅡ	CIDESCO国際認定エステティシャン合格基準 ajeste上級認定エステティシャン合格基準を目指 す。	2年後期	60	2				○		○		○		
		○	ボディベーシック	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテ クニック技術、知識を深める。	2年	90	3				○		○		○		
		○	ボディテクニカル Ⅰ	応用トリートメント（資格試験対応）	2年前期	45	1				○		○		○		
		○	ボディテクニカル Ⅱ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテ クニック技術、知識を深める。	2年後期	60	2				○		○		○		
		○	プロボディⅡ	ボディテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション ・エステティック機器 ・ハンドテクニック ・接客マナー	2年	120	4				○		○		○		
		○	プロフェイシャル （上級）Ⅱ	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー	2年前期	90	3				○		○		○		
		○	プロフェイシャル （上級）Ⅲ	・フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術習得 ・コンサルテーション ・エステティック機器 ・ハンドテクニック ・接客マナー	2年後期	90	3				○		○		○		
		○	エステティック総 論（上級）	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活へ の応用。	2年	60	4	○					○		○		
		○	プロフェイシャル （ヒーリング）	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応） クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー	2年	120	4				○		○		○		

		○	アロマセラピー総論	エステティック知識総合 ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・ 脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2年	60	4	○			○		○					
		○	エステティック総論（ヒーリング）	エステティック知識総合（H専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・ 脳神経の構造と働き ・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2年	30	2	○			○		○					
		○	スパセラピー	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用	2年	120	4	○			○		○					
○			サロンワーク（ネイル）Ⅱ	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、お客様をお迎えして実践して、自身の技術向上を目指す。	2年	90	3				○		○					
		○	検定対策Ⅱ	JNECネイリスト技能検定2級～1級とJNAジェルネイル技能検定中級～上級の取得を目指し技術強化していく。	2年前期	60	4	○					○					
		○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2年後期	60	4	○					○					
		○	検定対策&スカルプチュアⅠ	JNECネイリスト技能検定2～1級取得を目指し技術強化していく。	2年前期	60	4	○					○					
		○	検定対策&スカルプチュアⅡ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得を目指す。	2年後期	60	4	○					○					
		○	ジェルネイルⅡ	JNAジェルネイル技能検定中級から上級の取得を含め、ジェルネイルについての技術・知識を学ぶ。	2年	120	4	○					○					
		○	コンテストⅡ	ネイルのコンペティションの出場を目指し、技術強化していく。	2年	60	2	○					○					
		○	ネイルケア	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケア（ハンド・フットの両方）の技術向上を目指す。	2年	90	3	○					○					
		○	ネイルアートⅡ	フラットアート・3Dアートやエアブラシなど基礎的なアートから高度なアート技術までの全てを学ぶ。	2年	90	3	○					○					
○			サロンワーク（インナービューティー）	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	2年	60	2						○					
		○	エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、適格に状態を見極め、お手入れとアドバイスを専門的に伝える知識を身に付ける。	2年	30	2	○						○				
		○	アロマセラピーⅢ	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用	2年	30	2	○						○				
		○	フェイシャル&ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用・使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2年	120	4	○						○				

		○ ネイルケア&ネイルアートⅡ	ネイル技術のすべての基礎であるネイルケアとネイルアートの技術向上を目指す。	2年	60	2		○		○		○			
		○ 検定対策&ジェル	JNECネイリスト技能検定2級とJNAジェルネイル技能検定初級の取得を目指し技術強化していく。	2年	60	4	○			○		○			
		○ パーソナルヘア&メイクⅡ	資格取得の技術と知識を身に付け、顔分析力、パーソナルメイクアップテクニックを身に付ける。	2年	60	2		○		○		○			
		○ トータルメイク	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2年	60	2		○		○		○			
		○ ヨガ・ピラティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する授業。	2年	60	2		○		○		○			
		○ デトックス	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を学ぶ。	2年	30	2	○			○		○			
合計			99科目	5135単位時間(220単位)											
卒業要件及び履修方法										授業期間等					
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。 また、授業科目の成績評価は別に定め、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、該当科目の認定をしない。 「施設実習」科目については必修科目とされている。										1学年の学期区分			2期		
										1学期の授業期間			15週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。